

『介護する家族の集い』開催

7月22日、2回目の『介護する家族の集い』を開催しました。
 今回は町福祉課介護保険係の猪狩恵大係長をお招きし、「介護保険制度について」学びました。
 大きな字で書かれた冊子をもとにわかりやすく丁寧に説明をして頂き、富岡町の高齢者率の現状や介護業界が抱える課題等を知る事が出来ました。
 またワンポイント講座では、片麻痺の方のベッドからの起き上がり介助を体験しました。どちらも参加者が日頃疑問に思っている事から、たくさんの質問があり、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。



スナックパイナップルが成長

郡山支所で生活支援相談員が訪問している泉崎村の吉田清恵さんから、3～4年前に沖縄から届いたスナックパイナップルを植えたところ、今年ようやく見事に成長したとの便りが届きました。夫の孝生さんが手入れをしていたとのこと、味もとっても甘くて美味しかったそうです。



温かいご支援ありがとうございます。

善意のひろば

令和6年7月1日～令和6年7月31日

ご遺志金

喪主名	故人名	行政区
伊藤 佳代子 様	牛来 悦子 様	夜の森駅前北

社協会員にご加入ありがとうございました

当協議会の事業や活動に多くの皆さまが賛同していただき、令和6年度社協会員に加入していただきました。皆さまにご協力いただいた会費は、地域福祉活動の貴重な財源として活用させていただきます。

期間	一般会員	特別会員	企業・法人	金額
4/1～7/31	96人	74人	2団体	314,000円

◎ご加入くださいました法人会員は下記のとおりです。(順不同・敬称略) (個人会員の氏名は今年度より掲載を省略しています)

渡部自工株式会社

有限会社堀本建設

赤い羽根共同募金 インターネット寄付もできます

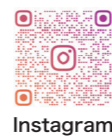
「赤い羽根 インターネット寄付システム」を利用することで、クレジットカード決済やコンビニ決済による寄付ができます。ご利用方法については、「インターネット寄付システム ご利用ガイド」をご参照ください。QRコードから、富岡町共同募金委員会を指定して寄付することができます。ご協力をお願いいたします。



社会福祉法人 富岡町社会福祉協議会

住所 〒979-1112 福島県双葉郡富岡町中央1丁目8-1 富岡町総合福祉センター内
 MAIL tomi-181@tomioka-shakyo.or.jp
 URL https://tomioka-shakyo.or.jp/
 TEL 0240-22-5522 FAX 0240-22-4870

「笑～る」の発行には、皆様から寄せられた社協会費、寄付金等を活用しています。



Instagram



Facebook



公式LINE

富岡町
社協だより

えみ
笑～る

240号

2024年9月5日発行

発行
社会福祉法人
富岡町社会福祉協議会

世代間交流～ペーパークイリングのサンキューカードづくり～

7月26日、町総合福祉センターにて、世代間交流を目的とした「ペーパークイリングのサンキューカードづくり」を行いました。これは「東北の造形作家を支援する会(SOAT)」が主催し、町内のお手伝いボランティア団体や町放課後児童クラブの子供たち、町老人クラブ会員、主任児童委員の皆さんが協力して、細長い色紙をクルクル巻いてメッセージカードを飾りつけるワークショップです。

この交流の目的は、少子高齢化、核家族化が進み家庭内で高齢者と子どもが関わる機会が減少する中、ものづくりを通して世代を超えたつながりや相互理解を深めることを目的とした活動です。

手先を使う細かい作業となりましたが、大人も子供も「この色合いはきれいだね」「このデザインかわいいね」など笑顔があふれ楽しく交流を深めることができました。



猛暑に負けずグラウンド・ゴルフ交流大会を行う

7月18日、町グラウンド・ゴルフ場にて、富岡町老人クラブがグラウンド・ゴルフ交流大会を行いました。夏真っ盛りで月間最高気温とも言える猛暑日でしたが、34名の会員が参加し元気にプレイを楽しみました。毎年恒例となった本大会、男女別に優勝杯が用意されております。昨年度の優勝者は2連覇を狙っておりましたが、残念ながらペナントには新しい優勝者の名前が刻まれることになりました。その他、各賞が用意され、渡辺達生会長から最高齢参加者に特別会長賞が授与されました。



ラルフローレン社様よりタオルの寄贈

海外の有名ブランドラルフローレン社様より「東日本大震災で避難されている方にお役に立てて頂きたい」と福島県にタオルの寄贈があり、福島県社会福祉協議会を通じて当協議会にもタオルをいただきました。当協議会では、生活支援相談員等の巡回訪問及びサロン開催時にタオルを配布しています。タオルを受け取った住民の方より「こんな立派なタオルを頂けるなんて嬉しい」「嬉しい、ありがとう」等と感謝のお言葉がありました。



太鼓のリズムにあわせて元気に介護予防

6月26日、一般介護予防事業「笑顔しゃんしゃん教室」を開催しました。今回は「創作和太鼓グループ・小浜風童太鼓」代表榎内正和様を講師に招き健康太鼓の体験を行いました。同団体では日頃から伝統文化の継承や住民の方へ『元気・感動・笑顔』を太鼓を通してお届けする事をモットーに活動されています。今回、参加された方々は太鼓を叩くのは初めての方が多く、和太鼓のバチの握り方から叩き方まで丁寧に教わりました。太鼓の演奏は、リズムをとることで脳の活性化だけでなく、腕や手首なども使うので、生活リハビリにもなります。終盤は懐かしい歌謡曲と相馬盆唄の曲に合わせて演奏しにぎやかで笑顔あふれる教室となりました。



民生児童委員との同行訪問実施

いわき地区では市内に居住する町民の方を対象に、同じく市内に居住する町民生児童委員が見守り、相談、安否確認を目的として訪問活動を行っています。

6月、7月には当協議会の生活支援相談員と共にいわき市内の復興公営住宅の同行訪問を行いました。行政区の話になると懐かしそうに話をされる方もいらっしゃいました。普段生活支援相談員の訪問ではお聞き出来ない様なお話をお伺いできるので更に深く住民の方を知ることが出来る良い機会となりました。

相談事があれば、お気軽にお声がけください。



一般介護予防で写真撮影&脳トレ

7月19日、一般介護予防事業「わくわく笑和サークル」で写真撮影と脳トレを行いました。カメラマンとして富岡町内在住の藤田一氏をお招きしての写真撮影会。撮影では



たくさんの照明機材を前に緊張されていた様子でしたが、カメラマンの声掛けに素敵な笑顔で対応されていました。脳トレでは、簡単なものから少し考えさせられてしまうようなものまで幅広く問題を用意しました。無理なく続けて楽しみながら脳を活性化させましょう。



おだがいさま倶楽部 福祉まつり出展作品づくり

7月19日、一般介護予防事業「おだがいさま倶楽部」では、福祉まつりに出展する「ちぎり絵づくり」を行いました。

ちぎり絵は、夜の森の桜のトンネルをモチーフに、ピンクや緑、茶など色彩豊かな和紙を小さく千切って、配色やバランスを考えながら貼り付けていきました。和紙を小さくちぎる作業は指先を使うため脳の活性化によいとされます。今回使用した和紙は少し厚みがあったためか、小さくちぎるのには皆さん最初は苦労されていましたが、時間と共に、和紙をちぎる人と和紙を下絵に張り付ける人とに分かれて作業を行い、張り付けられた和紙は、立体的な桜の模様になりました。

故郷に想いをのせ、みんなの力で完成させた作品は、11月の福祉まつりに展示する予定です。



「第38回 福祉まつり」作品募集のお知らせ

11月に行われる「福祉まつり」で作品展を開催します。皆様がお心を入れて作成した手芸、工芸、写真や絵画などの作品を募集します。詳しくは社協だより10月号に福祉まつり開催案内と作品募集の方法を掲載します。皆様からのたくさんの作品出展をお待ちしております。



◎作品は、これまで福祉まつりに出展していない作品でお願いいたします。